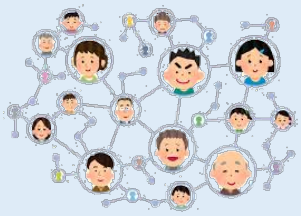
南行徳中学校ブロック
合同学校運営協議会だより



令和２年７月22日発行
市川市教育委員会
学校教育部
学校地域連携推進課

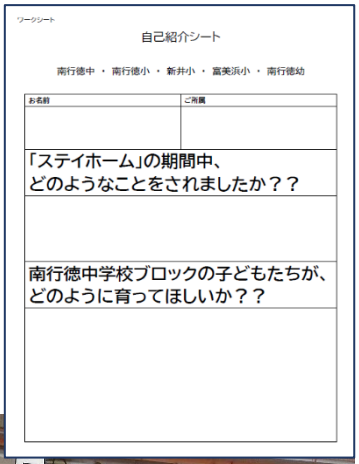
令和２年７月13日(月)富美浜小学校体育館を会場として、南行徳中学校ブロック合同の“学校運営協議会を開催しました。

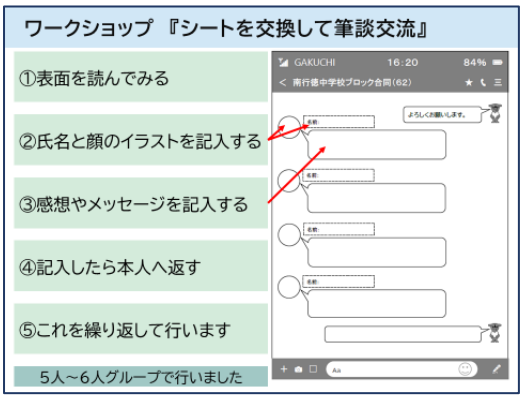
南行徳中学校、南行徳小学校、新井小学校、富美浜小学校、南行徳幼稚園、それぞれの学校運営協議会に所属されている方々、計31名にお集まりいただきました。

「地域学校協働本部」の説明と「自己紹介」を兼ねたワークショップを行いました。ワークショップでは、「南行徳中学校ブロックの子どもたちが、どのように育って欲しいか？？」という意見交換を『筆談』で行いました。

この会で話し合われた内容についてお知らせいたします。







↑「自己紹介」カードを記入し、用紙を交換し合うことで、『筆談交流』を行い、お互いにコメントを記入しました。



ワークショップで出されたご意見をキーワードごとにまとめました。

①「ステイホーム期間にしたことは？」



お仕事(テレワーク含む)関連

自己研鑽・ボランティア活動





趣味・楽しみ

家事(片付け・修繕・料理)



②「子どもたちが、どのように育って欲しいか？？」

元気な挨拶ができる子	夢や希望を持つ子
たくましく生きる	学力・行動力

自他を大切にする(個性・多様性を認める・SDGs)

南行徳っ子・地域愛あふれる子(次の担い手)



ブロック合同学校運営協議会へのご参加、ワークショップのご協力、ありがとうございました。

コロナ禍、『筆談』という方法でワークショップを行いました。短い時間でしたが、地域の皆様の熱い思いや願いを“書く”ことで、はっきりと伝え合うことができました。上記資料は、出されたご意見をまとめたものです。

異なる所属校(園)同士での交流は、お互いの顔と名前が一致し「顔見知り」の関係ができたかと思います。

このように、お互いの意見を交換することで「同じような考え」や「新たな発見」に出会うことができました。

『熟議(熟慮と議論)』を繰り返すことで、ビジョンの共有につながり、“当事者意識”が醸成されていきます。さらに、話し合いの中で「みんなでできること」が出てきたら地域学校協働本部で実現していきたいと思います。

今後とも、各学校で開催されている学校運営協議会をよろしくお願いします。